

2005 FJ1600 鈴鹿シリーズ

■10月15日 土曜日 ウェット フリー走行

今回は開幕戦以来の鈴鹿サーキット東コースで行なわれました。開幕戦では PP & ファステストラップも取れていて、自分としても東コース側が得意なので物凄く気が入ります。そして前回のレースでランキングもトップになったので気持ち的にも余裕がありました。しかし、今回は金曜日の練習走行がなく土曜日に3本の枠があるだけだったので、走る前からセッションごとに試してみるセットメニューを考えたいのですが、あいにくの雨で1本目からコース状況は Wet でした。それならそれで雨のセットを出そうと走り始め、前半は周りに比べても2秒くらいは差で走っていたのですが、段々乾いてくる路面でその頃にはタイヤもボロボロになりトップタイムを逃してしまいました。けれど Wet セットの目指す方向も見えてきて、いい練習になったと思います。そして2本目は微妙な天気だったのですが充 Dry セットを試せる路面だったので前日に決めていたメニューの優先的なものから試して行きます。しかし走り始めて10分もしない内に1コーナーで他車とクラッシュしてしまいました。こういうクラッシュは1番最悪で、今回においては唯でさえ練習枠がない中の貴重な Dry セットを出すチャンスだったのですが、それを不意にしてしまうだけでなく、レースウィークの流れ、経費、メカニックの方たちの余分な仕事を増やす等ほんとに無駄ばかりでした。メカニックの方たちにはほんとに迷惑をかけたと思います、すいませんでした。そして、この枠でもトップタイムは出せたのですが、Dry セットをしっかりと出すことが出来ずにそのまま予選を迎えることになりました。

■10月16日 日曜日 ドライ 公式予選

この日朝から陽は照っていたのですが、路面はびしょ濡れで FJ の予選までに乾くのか心配でした。今回は41台というエントリー数から A、B の二組に分かれて予選が行なわれたのですが、自分は A 組の方だったので、どうしても路面のコンディショナルなものから後から走る B 組の方がタイムが出るなあと感じていました。けれどそんなことを考えていてもどうしようもなく、自分が出ることを精一杯やるだけだなと思い気持ちを集中させます。もうひとつ心配だったのはセットのことで、昨日のクラッシュからしっかりセットが出ていなかったのですが、開幕戦のセットとクラッシュするまでのフィードバックからある程度セットをだし、後は「15分の予選中にセット変更をしよう」ということでメカニックの方たちと話し合いました。こうした中予選が始まり、計測1周目から昨日のトップタイムくらいのタイムは出すことが出来ました。そこからちょっとづつタイムを詰めていっていたのですが、自分が想像していたより最終コーナーでオーバーが強く途中からタイムが思うように伸びません。この時点ではまだトップタイムだったのでセット変更をしようと思ったのですが、二番手に落ちてしまい残り時間などを考えたらセットを変更するより自分の走り方を少しだけ変えて乗ろうと思いそのまま走り続けることにしました。1周のクールラップを挟みしっかりクリアなポジションを作って再度アタックします。その結果どうにか予選 A 組のトップタイムをマークすることが出来ました。続いて B 組の予選が始まり、このグループのトップタイムと自分のタイムの速かった方がポールになるのでドキドキしながら見ていたのですが、最終的に2/100秒差くらいの僅差で自分のタイムが破られ予選は総合2番手になってしまいました。かなり悔しかったのですが大事なのは決勝なので、決勝に気持ちを入れ替え、予選時のフィードバックから決勝用にセットを変更してその時を待ちます。

■10月16日 日曜日 ドライ 決勝

午後には完璧な Dry コンディションになり、気温、路面温度ともに高くなりました。前回のレースでポイントリーダーになったこともあり、気持ち的にも余裕ができシリーズチャンピオンを考えたレース運びを心がけます。予選時のフィードバックから

更したセットをコースインの周に確認してよいよフォーメーションスタート。この東コースは自分的には得意だったので、スタートで前に出ればそのまま引き離しに掛かろうとしっかりタイヤを温めシングルに集中します。

そして、シングル・レッド、消灯、スタート。

タイミング的には良かったと思うのですがホイールスピンを止めることが出来ず、両側から一気に抜かれ、5番手まで落ちてしまいました。しかし、周回数もかなりあり、タイム的にも自信はあったので焦らず前の選手の隙を伺います。そして自分の方が速いコーナーと相手の方が速いところを確認して、最終コーナーからの立ち上がりで仕掛けてます。ストレートでスリップには完璧に入っているのですが、パスしようとスリップから出ると急に車速が落ち、横に並ぶことも出来ません。それでも3周の間、毎周にわたって、仕掛けてます。しかもその仕掛け方も考えてスリップから出るタイミング、場所などいろいろ試すのですが、どうしても後一歩及びません。そこで、今ここで無理に仕掛けてもチャンスは少ないなあと、後半の為にタイヤを労わろうとししばらく後ろで様子を伺うことにしました。4周目に3位と4位の選手が2コーナー立ち上がりで接触し、ひとつポジションを上げ4番手。前の選手のペースでも、トップの選手との差がそんなに広がらないのでこれからどう仕掛けていくか考えていた7周目、信じられない光景が目に見えてきました。なんとゼッケン72番にドライブスルーのペナルティーが出されていました…。自分でも心当たりはなく信じられなかったのでもう1周様子を見たのですが、やっぱり自分で、何がなんだかかわからないままペナルティーを受け、その後コースに復帰すると26番手までポジションを落としていました。今までの自分ならここで熱くなってミスを起こしていたと思うのですが、一度落ち着いて「今、自分が出ることは何か？」と考えたとき、シリーズチャンピオンの為に最後まで諦めず1ポイントでも取ることだと思い必死で前を追いかけてます。この時は自分が何位を走っているのかなど全く分からず、ただただ、前に見える選手を抜いて行きました。そして5台くらい抜いたとき前のほうに10台くらい並んでるのが見え「この集団も抜こう」と思ったその矢先、2コーナーで自分のすぐ前を走っていた選手がコース上でスピン。その選手をよけグラベルに入ったのですが、その選手も止まりきれず軽く接触し自分もスピンしてしまいました。けれど車は特に異常もなくコースに復帰出来たので、最後まで絶対に諦めないでまた前に見える選手を抜きにかかります。このときは、何の意味もないことかもしれないのですが「絶対にファステストラップを取る！」ということ思いながら走り、チェッカーを受けました。結果的にファステストラップは取れたのですが、23位でノーポイント、最悪な形でレースを終えました。

ペナルティーの原因はフォーメーションラップ前のダミーグリットに付く際に、スタート練習をした行為に対してでした。

スポンサー様、Team オーナー、監督、そしてメカニックの方やレース関係者、自分を応援してくれている方々にほんとに申し訳ないことをしたと思います。すいません。

今回は本当に自分が情けなくなると同時に、こういうちょっとしたことで「今まで必死でやってきた結果を台無しにしてしまうんだな」ということを実感しました。しかもシリーズランキングのポイント的にも2位の選手に逆転され、自分が無条件でチャンピオンを取るには最終戦で優勝しなければなりません。この先二度とこんなミスを繰り返さず、最終戦は、今自分が出ることを何でもやって全力で勝ちに行きます。そして絶対にチャンピオンをとりますので引き続きご指導、応援よろしくお願ひします。